

UMF（未確認食品）の謎 ✨

ヒバゴンの“ 幻の食の痕跡” を追え！



Webアプリ



伝説×食の新概念 「UMF」の提唱

広島県の未確認生物「ヒバゴン」が残した“食の痕跡”を、未確認食品（UMF：Unidentified Mysterious Food）として再定義しました。地域の人々の記憶にのみ存在し、流通が限定的な「希少食材×物語性×発見体験」を掛け合わせた新しい観光体験を提案します。

埋もれた地域価値を 「データ」で可視化

中山間地域に点在しながらも埋もれている地域資源（柑橘・郷土料理・伝説）に着目
データの裏付け: 人口密度が極端に低い地域にこそ、知られざる食と物語が集中しているという特性を利用しています。食と物語を通じて、都市部の共感層を呼び込む「関係人口」を増やす仕組みを構築します。

デジタル技術による 探索ルートの実現

最新のオープンデータとAI技術を活用し、リアリティのある体験を提供します。
ヒバゴンルートの解析: DoboXの橋梁・カメラ位置データや国土数値情報の人口密度をQGISで解析し、「ヒバゴンが人目を避けて通りそうなエリア」を特定してルート化しました。